

いばらき建設技術研究会
橋梁点検分科会 第2回研究会(リーダー会) 議事録

平成17年4月13日(水) 15:00~
茨城県建設技術公社 会議室

主席者:各班リーダー11名

(内容及び結果)

1. 第1回研究会の報告
2. スケジュールの確認として、当分科会の成果を平成17年末までに研究結果をまとめ報告発表会を開催し、成果を県土木部に提出する。
3. 各委員の意見
 - ・ 橋梁点検分科会は、県に提案していく会である。
 - ・ 点検マニュアル作成方針
 - 1) H16国土交通省案
 - 2) H3, 4茨城県土木部点検調査結果データより
 - 3) 橋梁点検分科会案
 - ・ マニュアル作成に当たって利用者は、誰なのか？が大事である。茨城県土木部職員が分かりやすく使いやすいものとする。
 - ・ データを収集保管する作業を行う。(データベースの作成)
 - ・ 橋梁台帳からは、下部工及び基礎工の詳細が読み取れない又不明な部分があるので詳細が分かる資料を用意する。(自治体G)
 - ・ 分類を土木事務所単位に分けるのか？路線単位で分けるのか？
 - * 水戸土木事務所管内の橋梁を抽出し研究資料とする。
 - * データをCD化し配布する。…自治体G
 - ・ 調査表(データベース化)を作成しそれに基づき調査及び情報集積する。
 - ・ 自治体G 茨城県土木部道路維持課意見
 - 1) 県としては、調査票が土木職員の誰でも活用できる解り易いもの。
 - 2) 茨城県土木部点検調査表を、使用するときには、見直しが必要と思われる。(調査ポイントの集約)
 - ・ PCコンクリート橋は、点検箇所が限定される為、調査項目が少なくて済む。(PCG)
 - ・ 耐震補強については別途の研究対象とする。
4. 2ヶ月に1回程度分科会を招集したい。
5. 次回はゴールデンウィーク前に実施する。